

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成27年2月5日 (2015.2.5)

【公開番号】特開2013-131311(P2013-131311A)

【公開日】平成25年7月4日 (2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2011-278176(P2011-278176)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 V 29/00 (2015.01)

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

F 2 1 V 29/50 (2015.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 8 3

F 2 1 V 29/00 1 1 1

F 2 1 V 19/00 1 5 0

F 2 1 V 19/00 1 7 0

F 2 1 S 2/00 1 0 0

F 2 1 V 29/02 5 1 0

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月10日 (2014.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示パネルと、該表示パネルに対して背面側から光を照射する光源部を備えた表示装置であって、

複数の光源素子を有する光源基板と、

前記光源基板に対して前記表示パネルとは反対側に配置される放熱用部材と、

前記放熱用部材の外周縁の部分に前記表示パネルの側から当接して側壁を形成する枠体と、を備え、

前記枠体のうち、前記放熱用部材と当接する部分に前記光源基板側に突出した突出部を形成し、前記突出部を前記光源基板に形成した切り欠き部に挿入したことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

表示パネルと、該表示パネルに対して背面側から光を照射する光源部を備えた表示装置であって、

複数の光源素子を有する光源基板と、

前記光源基板に対して前記表示パネルとは反対側に配置される放熱用部材と、

前記放熱用部材の外周縁の部分に前記表示パネルの側から当接して側壁を形成する枠体と、を備え、

前記枠体のうち、前記放熱用部材と当接する部分に前記光源基板側に突出した突出部を形成し、前記突出部を隣り合う前記光源基板の間隙部に挿入したことを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

前記突出部は、前記光源基板に対する位置決め部を有することを特徴とする請求項 1 記載の表示装置。

【請求項 4】

前記切り欠き部の幅は、前記光源素子の外形サイズを含めた該光源素子同士のピッチよりも小さいことを特徴とする請求項 1 または 3 記載の表示装置。

【請求項 5】

前記切り欠き部は、前記光源基板における複数の辺または角隅部に形成されていることを特徴とする請求項 1、3、4 のうちのいずれか 1 項記載の表示装置。

【請求項 6】

前記位置決め部は、前記表示パネルの側に向かって延びる延伸部を有することを特徴とする請求項 3 記載の表示装置。

【請求項 7】

前記延伸部に切り欠き部を形成したことを特徴とする請求項 6 記載の表示装置。

【請求項 8】

前記突出部は、前記放熱用部材を前記枠体に締結するための締結部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の表示装置。

【請求項 9】

前記締結部は、前記放熱用部材に向けて突出した凸部を有し、
前記凸部が前記放熱用部材の貫通穴部に挿入された状態で該放熱用部材が前記枠体に締結されることを特徴とする請求項 8 記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る表示装置は、表示パネルと、該表示パネルに対して背面側から光を照射する光源部を備えた表示装置であって、複数の光源素子を有する光源基板と、前記光源基板に対して前記表示パネルとは反対側に配置される放熱用部材と、前記放熱用部材の外周縁の部分に前記表示パネルの側から当接して側壁を形成する枠体と、を備え、前記枠体のうち、前記放熱用部材と当接する部分に前記光源基板側に突出した突出部を形成し、前記突出部を前記光源基板に形成した切り欠き部に挿入した構成を有する。